



河東学園前期課程を対象とした 「アイラブ河東絵画・作文コンクール」 絵画の部の入賞作品

全ての応募作品は、河東支所のロビーなどに展示してあります。

「みなづるひめまつりの花火」
会長賞(特選)
2年 高橋 和花さん



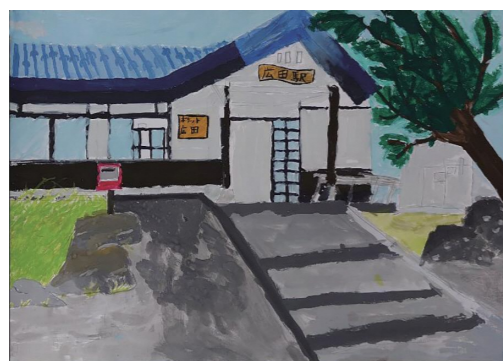
「思い出たくさん広田駅」
副会長賞(入選) 6年 渡部 桃香さん



「ソフトクリームでひと休み」
副会長賞(入選) 3年 渡部 桜さん



「私達の広田駅」
交通環境部会長賞(佳作)
4年 小林 美月さん



「温かい広田駅」
総務部会長賞(佳作)
4年 渡部 昇真さん



「じまんの延命寺」
生活環境部会長賞(佳作)
6年 村田 彩夏さん

河東地域づくり委員会では、皆さんの温かい寄付をお待ちしています。河東地域の活性化のために活用いたします。



感謝状と記念品をお渡ししました

11月7日、駒板地区の山口和男さんから、河東地域づくり委員会に対して、多大なる寄付をいただきました。山口さんからは、「河東地域のために有効に使ってほしい」との言葉があり、渡辺会長は、「今後の地域づくりに役立っていきます」とお礼を述べ、感謝状を贈呈しました。

寄付

ありがとうございました

【編集・発行】

河東地域づくり委員会(事務局:河東支所)
電話 0242-75-2113 / FAX 0242-75-3158
メール kawahigasi2013@gmail.com

フォローお願いします!

Facebook



Instagram



note



X



白銀の世界になった島・岡田集落

第2期河東地域づくりビジョン(素案)への意見を募集します

河東地域づくり委員会は、河東地域の5年後、10年後の未来を考え、地域の身近な課題解決につなげるため、地域の皆さんと一緒に目指す姿である「河東地域づくりビジョン」に沿って活動をしています。

現在のビジョンは、令和8年3月末で計画期間が終了します。河東地域づくり委員会では、皆さんの声を新たに策定する第2期ビジョンに反映させるため、河東地域集落支援員による集落点検(53地区の区長への聞き取り調査)や高校生ワークショップ、住民ワークショップ、地域満足度アンケート、河東学園前期課程を対象とした絵画・作文コンクールなどを実施してきました。

また、第2期ビジョン策定のため、河東地域づくり委員会の運営委員をはじめ有志の会員で構成された「みなづるプロジェクトチーム」を結成しました。プロジェクトチームでは、第1期ビジョンでの活動を振り返り、皆さんから寄せられた声をもとに地域の現状や問題を的確に捉え、地域の「ありたい姿」を描くため、熟議を重ねてきました。

この度、第2期ビジョンの素案がまとまりましたので、素案の一部を紙面でお知らせします。素案の全容は、会津若松市のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

第2期ビジョン(素案)への意見を募集します

意見がある場合は、任意の用紙に記入し持参するか、郵送、メール、ファクスなどで、河東地域づくり委員会事務局(河東支所 〒969-3481 河東町郡山字休三石14 FAX 0242-75-3158 メール kawahigasi2013@gmail.com)にお寄せください。

●募集期間…令和8年3月2日(月)~13日(金)



高校生ワークショップ



住民ワークショップ(午前の部)



住民ワークショップ(午後の部)



←第2期ビジョン(素案)はこちらから

第2期河東地域づくりビジョン（素案）がまとまりました



地域づくりのテーマ

「人と人とのつながりが育む 心豊かに暮らせる河東」

～ Update Kawahigashi

もっとわくわくする未来へ～

今まで築いてきた温かい「つながり」を土台にして、新しいアイデアや多様な感性を取り入れ、私たち自身の手で河東をより魅力的なステージへ押し上げようとの想いを込めました。

「わくわく」には、地域住民が地域の魅力を再認識し、その魅力を広く発信していくことを表現しています。



第2期ビジョンの位置付け

地域づくりビジョンは、会津若松市自治基本条例の理念に基づいて策定するまちづくりの計画です。住民や行政、各種団体、地域コミュニティ、事業者などの多様な主体が「協働」し、共通の目標に向かって、それぞれの役割を担いながら地域の課題を解決して、持続可能な地域運営を推進するための基本指針です。

第2期ビジョン策定の考え方

第1期ビジョンを振り返り、そのビジョンの方向性を基本としながらも、集落支援員による集落点検（53地区の区長への聞き取り調査）やワークショップ、地域満足度アンケート、河東学園前期課程を対象とした絵画・作文コンクールなどから見てきた地域の変化や実情に対応するため、また、地域の強みや資源を活用し、ありたい姿を目指すために、地域づくりのテーマと基本目標を設定し、委員会組織を見直しながら第2期ビジョンの策定をしました《右記参照》。

集落点検やワークショップ、アンケート、絵画・作文コンクールなどから見たもの

地域の変化や実情

- 地域の人口減少や少子高齢化が進行している
- 世代を超えた交流が減少している
- 各種団体の担い手不足や固定化が深刻化し、解散や活動が困難になってきている

河東地域の強みや資源

- 自然豊かで、美しい田園風景がある
- 食生活改善推進員やJA女性部、民生委員・児童委員などの活動が活発である
- 八葉寺や空也念仏踊り、藤倉二階堂、皆鶴姫の碑群など歴史的遺産が多い

地域のありたい姿

（だったらいいな、あったらいいな）

- 地域で子どもを育てる
- 子どもや孫が定住し、活気のある集落に
- 障がいがあっても暮らしやすいまち
- 人口が減っても成り立つまち

※全て一部抜粋

基本目標

三つの基本目標を設定し、住民や行政、各種団体、地域コミュニティ、事業者の五つの主体による協働で、集落点検やワークショップ、地域満足度アンケートなどから見てきた地域の課題の解決を図り、また地域のありたい姿を目指して活動していきます。

第2期河東地域づくりビジョンの期間

このビジョンの期間は、2026年4月から2031年3月までの5年間とします。

基本目標1【未来・育成】

- 子どもから高齢者まで、心と体を健やかに育むまちをつくります

基本目標2【活力・交流】

- 地域の強みや資源を活かし、人が集い楽しむ賑わいのあるまちをつくります

基本目標3【安心・基盤】

- 互い支え合い、安全で快適に移動・生活できるまちをつくります



第2期河東地域づくりビジョン(素案)

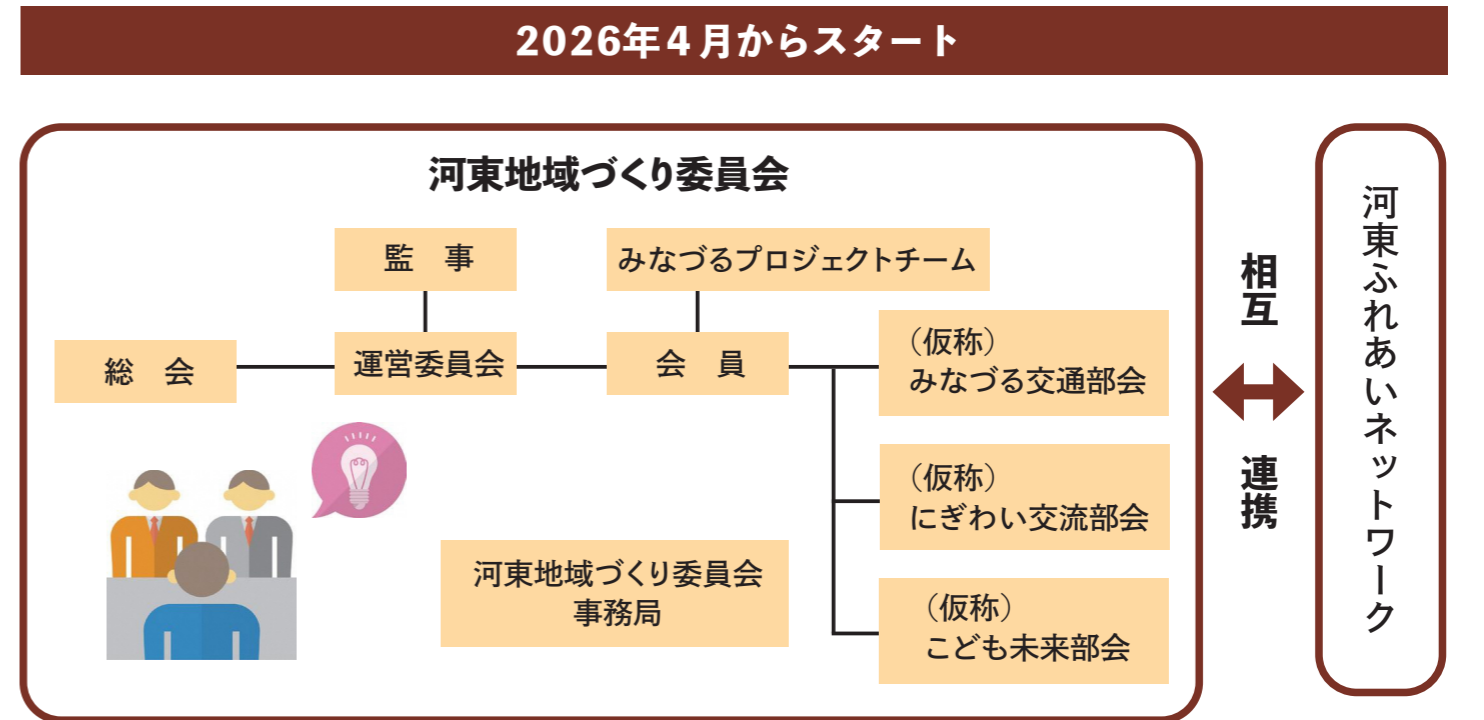
第2期河東地域づくりビジョンの推進体制 ～5つの主体の役割と協働のイメージ～



それぞれの強みを生かし、みんなで持続可能な地域運営を推進します

河東地域づくり委員会の組織体制(仮)と河東ふれあいネットワーク

少子高齢化の急速な進行やニーズの多様化といった社会情勢の変化、および複雑化する地域課題に柔軟かつ的確に対応するため、地域福祉を担う河東ふれあいネットワークとの連携をより強化し、新たな組織体制で実効性の高い地域づくりを推進します。



- ### 運営委員会の主な役割
- 地域の各種団体との連携強化
 - 組織の自走化に向けた研究
 - 自主財源の確保
 - 市長との意見交換会
 - 防犯・防災への取組

- ### みなづるプロジェクトチーム
- 第2期河東地域づくりビジョンを実現するための包括的な事業
 - 大学生事業および地域創生総合支援事業(サポート事業)などの活用

**河東ふれあいネットワーク
(河東地区社会福祉協議会)**

河東地域の福祉を推進することを目的に、住民を主役に、「お互いさま」「おかげさま」の心で地域課題を共有し、住民手づくりの福祉活動に取り組み地域支え合い団体です。

▼分野別目標…地域の連携と地域福祉力の充実により、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり

▼活動の柱…●地域福祉推進の基盤づくり ●身近な地域で支え合える基盤づくり ●安心して暮らせる基盤づくり

(仮称) こども未来部会

▼分野別目標…●地域みんなで育み、こどもの笑顔が輝くまちづくり

▼活動の柱…●河東地域フライン大作戦など親子で参加できる環境美化と保全活動(継続・発展) ●子どもといっしょに交流できる場の創出 ●河東支所の学習・交流スペースなどを活用した子どもの居場所づくり



楽しい催しを開催します

(仮称) にぎわい交流部会

▼分野別目標…●世代がつながり、活気ににぎわいあふれるまちづくり

▼活動の柱…●河東地域歴史ガイドマップなどの活用による河東地域の歴史的資源の魅力発信と利活用の推進 ●地域活力の向上を図る催しなど、世代を超えて交流できる場の創出 ●河東地域イメージキャラクター「皆鶴姫・義経」を活用した地域PR(継続・発展)

(仮称) みなづる交通部会

▼分野別目標…●出かける喜び、笑顔でつなぐ、安心移動のまちづくり

▼活動の柱…●河東地域内交通「みなづる号」の運営(継続・発展) ●持続可能な公共交通のための調査・研究等(継続・発展) ●「みなづる号NEWS」などでのPR活動(継続・発展)

**河東地域づくり委員会
分野別目標・活動の柱**

第2期河東地域づくりビジョンの基本目標に基づき、三つの部会の分野別目標と活動の柱を定めました。

なお、活動の柱に沿った事業展開にあたっては、年度ごとに計画を立てて実行して行きます。

※活動の柱の(継続・発展)…第1期ビジョンからの活動を継続し発展させること

「アイラブ河東絵画・作文コンクール」作文の部の入賞作品

河東学園前期課程を対象に開催した「アイラブ河東絵画・作文コンクール」の入賞作品を紹介します。

【佳作】河東地域づくり委員会総務部会長賞

「きれいなホタル」

河東学園 4年 加藤広晟さん

ぼくが、毎年楽しみにしていることは、ホタルが家の近くの川で、見られることです。母が「もつそろそろ、ホタル見えるんじゃない。」と教えてくれます。見頃は、六月中旬から七月上旬くらいです。たくさん数を見られる時間もかぎられています。夜の八時半から、九時くらいがいいです。二十分ちがっても、三十分ちがっても、いる数がちがいます。学校のじゅんびをしたり、歯みがきをした後に見に行くのが、ねる前のちよっとしたお楽しみです。

ぼくには、わすれられない思い出があります。それは、去年家の近くの川で見た光景です。ホタルが二十匹以上いて、飛び回っていました。母とっしょに「あっちにもいるよ。」とっつちにもいるよ。」と、たくさんいるので、こっふんしました。とてもピカピカしていて、イルミネーションのようでした。

今年は、去年よりもホタルのいる数が少なかったです。ホタルについて調べてみました。

今年は、天気が悪い日や風が強い日が多かったのかもしれない。ホタルが住める川は、水しつがよく、きれいな川にしかホタルは、いません。生息できるかんきょうは、年々減少傾向にあります。

ぼくが河東町のすきな所は、たくさん虫が住める自然がのこっていることです。たくさん虫たちをずっとずっと住めるようにしてあげたいです。特にホタルが大すきなです。ずっと続いてほしいきれいな光景です。



10月26日、河東支所で表彰式を開催しました

【入選】河東地域づくり委員会副会長賞

「かんのんさまとわたし」

河東学園 1年 添田 葵さん

わたしがかわひがしですきなばしよはあいづむらのかんのんさまです。わたしのいえのまどからよくみえます。よるになるときれいないろにひかっていることがあるので、きょうはなにいろなのかなとみるのがたのしみです。

かんのんさまにのぼったこともあります。かいだんがずっとつづいて、のぼるのがとてもたいへんでした。てっぺんまでのぼるとまどからきれいなけしきがみえてきました。

りょこうからかえってくるときに、いつもおとうさんかおかあさんが「かんのんさまがみえたよー。」とおしえてくれます。かんのんさまがみえともうすぐおうちにつきます。とおいところからでもしらくてちいさなかんのんさまがみえます。わたしのおうちをおしえてくれるのでかんのんさまがだいすきです。

【入選】河東地域づくり委員会副会長賞

「大好き」会津はん校日新館」

河東学園 4年 高橋 昊誠さん

ぼくは、小学一年生の時、あいづっこせん言を暗しようにおぼえました。先生からは、「昔のぶしの子ども達は、什のおきてというきそくがあつて、ぶしになる心がまえを学んだんですよ。みなさんもあいづっこせん言で立ばな人になりましょう。」と言われて、一生けん命「あいづっこせん言」を暗しうしました。

あいづっこせん言で好きな部分は「やってはならぬ、やらねばならぬ ならぬことはならぬものです。」という言葉です。かっこいい感じがします。

あいづっこせん言をおぼえる時、「あいづっこせん言をおぼえるなら、まずみておかなくちやいけな建物があるよ。」とお母さんに言われて連れてってもらったのが、会津はん校日新館でした。

建物は立ばで、今の学校とはふんい気がちがいました。てんじ室に什のおきてがあり「ならぬことはならぬものです」と大きく書かれていました。ぼくは、その言葉の力強さにあつとうされ、「きまりを守って、やさしい気持ちをわすれない人になろう」と思いました。

建物の外に出ると、水泳を練習する池や弓道場もあつて、勉強だけでなく体もしつかりきたえていたことが分かりました。昔のぶしの子ども達は、ならぬことはならぬの言葉通り、きびしい教えを受けながら、ど力を重ねていたんだなあと思いました。

会津はん校日新館にいと、せすじがぴーんとあつて、心がひきしまる感じがします。ぼくは、日新館が大好きになり、時々家族で出かけています。今年十才になるぼくたちは、会津はん校日新館で「半成人式」があるので、今から楽しみにしています。

